

観察教室

# カラーアドベンチャー

野外では、季節によって様々な植物を見ることができます。その植物の色に注目してみましょう。一つ一つの植物の名前は分からなくても、葉や花の色を手がかりに植物をさがしていくので、簡単に身近な植物に触れることができます。

## 1 準備物

- ① カラーカード:色画用紙（10cm×15cm程度）  
自然に近い色合いのものを20種類程度で、同じ色を3まいずつ準備し、ラミネート処理をしておく。
- ② 黒のラシャ紙1枚またはラシャ紙大の黒い布

## 2 やり方

- ① グループごとにカラーカードを1人2枚ずつ配ります。（6人グループ×2枚＝12枚）
- ② 校庭や花壇の植物から、カードに合う色の植物を見つける。葉、茎、花びら、実など植物のどの部分でも色が合えば良いです。もし、採取が可能であれば、植物も集めます。
- ③ 見つけ終わったら集合し、黒い台紙の上にカードと植物を並べていきます。
- ④ グループごとに採取した場所や知っている植物を発表し合います。



\* 季節の植物によって色も変化します。春は、芽生えのやわらかいパステル系の色、秋は、紅葉して赤や黄色を中心とした色などが多ので、いろいろな色をカードにしてラミネート加工しておくとう度も使えます。

観察教室

# フィールドアドベンチャー

ビンゴ遊びを取り入れながら、野外で五感を使って観察していきます。グループ活動で協力し合い、植物の特徴を見つけたり、手で感触を確かめたり、においをかいでみたり、鳥の声を聞いたりしながら自然に親しんでいきます。

## 1 準備物

- ① ビンゴカード
- ② 筆記用具
- ③ 生活科バッグ（下敷きとなるもの）

## 2 やり方

- ① あらかじめ校庭の植物や昆虫など生き物の様子を教師が把握しておきます。
- ② ビンゴカードの枠の5以外には、それぞれ題目を記入しておきます。  
枠の5には具体的な分かりやすい植物の名前（オオバコなど）を示し、児童に記入させます。
- ③ グループごとに調べさせます。
- ④ ビンゴになったら集合させます。
- ⑤ グループ全員で確かめ合います。

**フィールド・アドベンチャー** No. 1

グループの名まえ \_\_\_\_\_ グループ \_\_\_\_\_

ルール

- 1 まん中のマスには、先生がいった植物を書きます。
- 2 グループ全員がかくにんしたら、○をします。
- 3 1列かんせいしたら、ビンゴ！  
いくつできるかな。
- 4 時間になったら、とちゅうでももどってきます。

1 あり	2 あまい (におい)	3 しょくぶつ の たね
4 たかい木	5	6 白いもの
7 芽 (め)	8 とりの こえ	9 ちくちく

どこで見つけたか、メモしておきましょう。

- 1 \_\_\_\_\_
- 2 \_\_\_\_\_
- 3 \_\_\_\_\_
- 4 \_\_\_\_\_
- 5 \_\_\_\_\_
- 6 \_\_\_\_\_
- 7 \_\_\_\_\_
- 8 \_\_\_\_\_
- 9 \_\_\_\_\_

- 1 -